

通し番号	5132
------	------

分類番号	R04-34-16-1
------	-------------

県西地域に適したオリーブの品種と品質特性を明らかにしました

[要約] オリーブオイルを生産するための品種は、‘アルベキナ’、‘ピクアル’、‘コラティナ’が生育良好で、収量、搾油量が多く、県西地域の傾斜地に適している。また、収穫されたオリーブの品質は、品種により主要脂肪酸であるオレイン酸が6～7割を占めている。‘マンザニコ’は1果重が大きく、脂質率が低いため漬物用品種に適している。

神奈川県農業技術センター・足柄地区事務所研究課、生産環境部 連絡先 0465-29-0506

[背景・ねらい]

県西地域の新規導入作目としてオリーブの栽培が始まったが、県西地域の傾斜地に適した品種や品種特性は不明である。そこで、段々になった樹園地に適したオリーブの品種を検討する。また、生産者自ら加工する事例が増えつつあるため、県内で収穫されたオリーブの品種特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 2022年の樹容積で‘マンザニコ’、‘ルッカ’、‘アルベキナ’、‘コラティナ’、‘コロネイキ’の生育が旺盛である(図1)。
- 2021年及び2022年の2か年平均で1樹当たりの果実収量が5kg以上となったのは、‘アルベキナ’、‘コラティナ’、‘ピクアル’、‘マンザニコ’である。
樹容積当たりの収量も‘アルベキナ’、‘コラティナ’、‘ピクアル’、‘マンザニコ’が良好である(表2)。
- 1果重は、0.5～3.1gと開きがあり、‘マンザニコ’、‘ピクアル’が3g以上で大きい(表2)。
- 搾油率は、‘ルッカ’、‘コロネイキ’が6%で最も高く、‘ペンドリノ’は0.5%と最も低い。他は2～3%の範囲である。
樹容積当たりの搾油量は、‘ピクアル’は7g、‘アルベキナ’、‘コラティナ’が6gと多い(表2)。
- 果実の脂質率(生果当たり)は、1.4～10.8%と差が大きく‘コロネイキ’、‘ルッカ’、‘ピクアル’が高く、次いで‘ネバディロ・ブランコ’、‘マンザニコ’が低い(表2)。
- 脂肪酸の主要成分であるオレイン酸含有率は、‘コロネイキ’が最も高く、次に‘ピクアル’、‘ルッカ’が高く、‘ペンドリノ’、‘ネバディロ・ブランコ’、‘アルベキナ’は低い(表3)。

[成果の活用面・留意点]

- 本試験研究成果は、傾斜地の段々になった果樹園で、1列植え、栽植間隔2.5m、施肥は、成木10a当たりN:P₂O₅:K₂O=11:7:10kgを基準とした。病虫害防除は、オリーブアナアキゾウムシ、マエアカスカシノメイガ、炭疽病等を対象に6回の薬剤散布を行った結果である。
- 搾油については、ミキサーで攪拌した後、遠心分離して油を回収したため、専用の搾汁機を使った場合と搾油量は異なる。

[具体的データ]

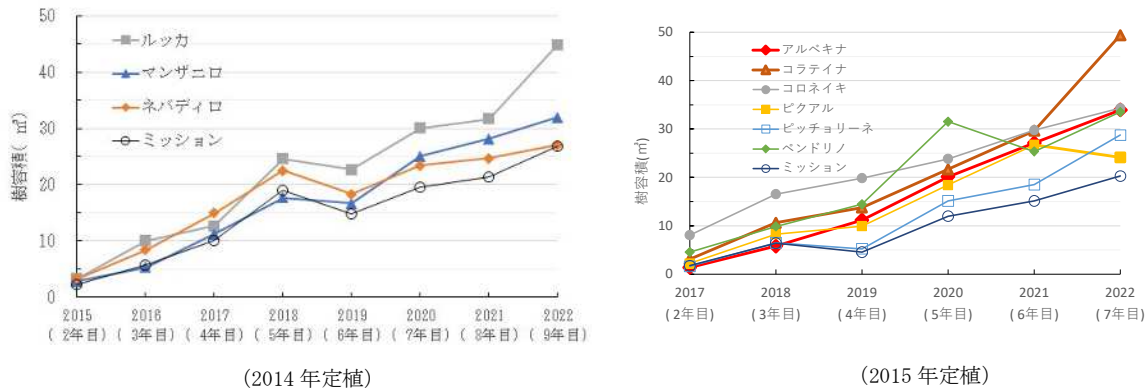


図1 品種別の樹容積の推移

表2 品種別の搾油率、脂質率、1果重、収量

定植年	品 種	1果重 (g/個)	搾油率 (%)	脂質率 (%)	1樹当たり		樹容積当たり	
					収量(g/樹)	搾油量(g)	収量(g/m ³)	搾油量(g)
2014	マンザニコ	3.1	2.0	1.7	7468	152.4	254	5.2
	ネバディオ・ブランコ	2.3	3.1	1.4	1205	37.9	44	1.4
	ルッカ	1.3	6.1	9.0	3252	197.2	87	5.3
	ミッション	2.3	2.9	5.7	1156	33.0	51	1.5
2015	アルベキナ	0.8	2.4	3.5	7166	170.5	253	6.0
	コラティナ	2.2	3.5	5.7	5618	196.1	163	5.7
	コロネイキ	0.5	6.1	10.8	1891	116.2	58	3.6
	ピクアル	3.1	2.4	7.6	7284	172.5	285	6.8
	ピッチョリーネ	2.1	2.4	3.3	136	3.2	5	0.1
	ペンドリノ	1.1	0.5	1.8	1396	7.2	53	0.3
	ミッション	2.0	2.9	5.7	831	23.7	47	1.3

搾油率及び脂質率は2022年調査、1果重及び収量は2021及び2022年の調査の平均値

表3 品種別の脂肪酸組成

品種	主要脂肪酸 (名称 炭素数：不飽和結合数) (%)				
	パルメチン酸	ステアリン酸	オレイン酸	リノール酸	リノレン酸
	C16:0	C18:0	C18:1	C18:2	C18:3
マンザニコ	16.5	3.4	68.9	5.4	1.0
ネバディオ・ブランコ	15.7	1.8	63.6	12.4	1.5
ペンドリノ	16.9	1.7	61.4	13.6	2.0
ピッチョリーネ	15.4	1.9	65.2	11.6	1.4
コラティナ	13.7	2.0	71.9	8.0	1.0
アルベキナ	15.9	1.9	64.0	8.6	0.9
ピクアル	13.5	2.4	75.0	3.3	1.2
ミッション	12.9	2.2	72.2	7.4	1.6
ルッカ	13.8	2.1	73.1	6.1	0.8
コロネイキ	11.1	2.8	77.2	4.5	0.7

[資料名] 平成28、29、30、令和3、4年度試験研究成績書

[研究課題名] 新たな作物・品種の探索による特産品の開発

県産農産物、未利用資源等を活用した加工品の開発

[研究期間] 2016(平成28)年度～2022(令和4)年度

[研究者担当名] 渡辺茂 簗島恒樹 川田祐輔 渡邊清二、曾我綾香、吉田誠、

[協力・分担関係]